

学生の街・京都

京都は「学生の街」と言われています。そこで今回は、「学校基本調査（令和2年5月1日現在）」及び「人口推計（令和元年10月1日現在）」の結果を基に、「大学・大学生」について調べてみました。

令和2年度の大学等進学率をみると、京都府は67.8%と、調査開始以来過去最高を更新し、5年連続で全国1位でした。全国平均の55.8%を12ポイントも上回っています。（図1）

なぜ京都府の大学等進学率はこれほどまでに高いのでしょうか。

※大学等進学率とは、高等学校卒業者のうち、大学・短期大学（通信教育部を含む。）及び高等学校専攻科等へ進学した者の割合です。

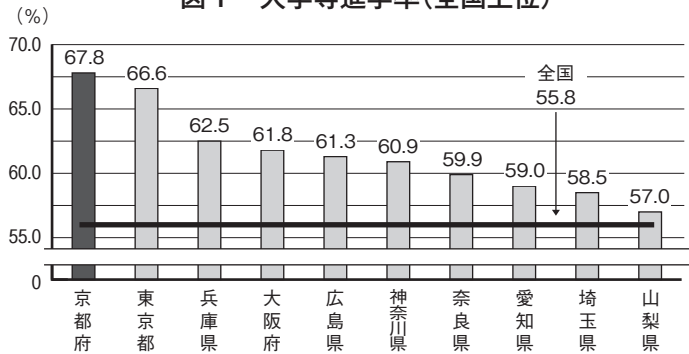
まず、10万人当たりの大学数をみてみましょう。令和2年度の10万人当たりの大学数は、京都府は1.31校で、全国1位でした。全国平均は0.63校なので、約2.1倍の数の大学が京都府内にあることが分かります。（図2）

次に、総人口に対する大学生の割合をみてみましょう。令和2年度の総人口に対する大学生の割合は、京都府は6.3%、全国平均は2.3%でした。つまり、全国平均では約43人に1人が大学生のところ、京都府ではその約2.7倍、約16人に1人が大学生ということが分かります。ちなみにこれも全国1位でした。（図3）

※大学生には、学部学生のほか大学院、専攻科及び別科の学生並びに科目等履修生等を含みます。

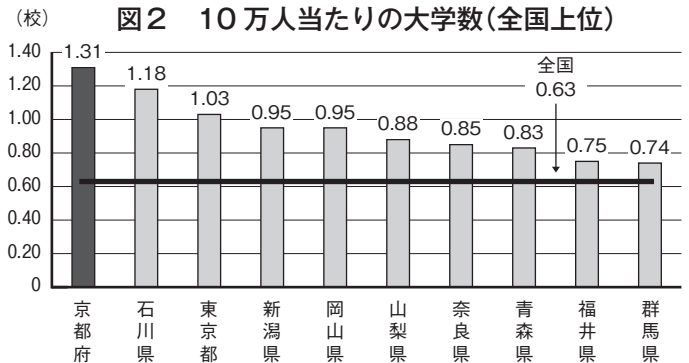
大学が多いため通いやすく、また、周りに大学生が多いため進学イメージがわかりやすい環境が、京都府の高い大学等進学率を支えているのかもしれない。

図1 大学等進学率(全国上位)



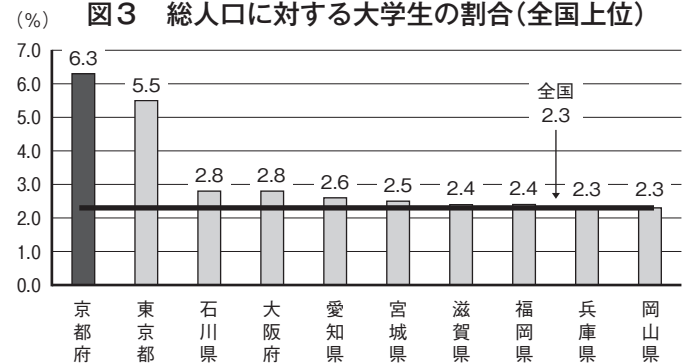
出典：文部科学省「学校基本調査（令和2年度）」

図2 10万人当たりの大学数(全国上位)



出典：総務省「人口推計（令和元年）」
文部科学省「学校基本調査（令和2年度）」

図3 総人口に対する大学生の割合(全国上位)



出典：総務省「人口推計（令和元年）」
文部科学省「学校基本調査（令和2年度）」